

プログラム

5月31日(土)

9:35～9:45 開会式 第1会場(3F 301)

9:45～11:05 一般演題1『子宮頸がん』 第1会場(3F 301)

座長：加藤 真吾(埼玉医科大学国際医療センター)

1. 子宮頸癌に対する中央遮蔽を用いた全骨盤照射と子宮腔内照射の併用における EQD2 分布の解析
田巻 倫明(埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科)
2. 子宮腔内照射直後の CBCT を用いた線量計算の有用性
倉岡杏希子(熊本大学医学部附属病院 中央放射線部)
3. 子宮頸癌 3 次元腔内照射における、膀胱内膜 / 小腸線量に影響を与える因子の検討
粕谷 吾朗(琉球大学大学院医学研究科 放射線診断治療学講座)
4. 子宮頸癌の根治的放射線治療における中央遮蔽を用いない外部照射スケジュールの適用可能性
椎名 秀樹(琉球大学大学院医学研究科 放射線診断治療学講座)
5. 子宮頸癌放射線治療における Deformable Image Registration による合成線量分布評価
阿部 孝憲(埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科)
6. 頸癌腔内照射における直腸圧排板による直腸線量軽減
立入 誠司(京都市立病院 放射線治療科)

11:10～11:49 一般演題2『乳がん』 第1会場(3F 301)

座長：能勢 隆之(日本医科大学多摩永山病院 放射線治療科)

7. 組織内照射による加速乳房部分照射 (APBI) 多施設共同試験の臨床結果 (30 ヶ月時)
松村 泰成(国立病院機構九州医療センター)
8. 当院での増感放射線療法 KORTUC を用いた高線量率小線源治療の経験
吉岡 裕人(大阪医科大学附属病院 放射線医学教室)
9. SAVI による乳癌小線源治療
新城 秀典(昭和大学医学部放射線医学放射線治療部門)

12:00～13:00 ランチョンセミナー 1 第1会場 (3F 301)

座長：藤井 崇 (天理よろづ相談所病院)

SEX and Brachytherapy

演者：萬 篤憲 (東京医療センター 放射線治療科)

共催：株式会社バリアンメディカルシステムズ

13:00～14:45 シンポジウム 『小線源治療の品質管理』 第1会場 (3F 301)

座長：河内 徹 (千葉県がんセンター 放射線治療部)

1. 小線源治療の品質管理 - メーカー毎の実例紹介 - 「Multi Source - HDR Plus による治療」
根本 幹央 (自治医科大学附属病院 中央放射線部)
2. 小線源治療の品質管理 VariSource-BrachyVision による治療
和氣 治雄 (東京医科大学病院 放射線治療部)
3. リスク分析から見る小線源治療の品質管理
岡本 裕之 (国立がん研究センター中央病院 放射線治療科)

14:45～16:30 シンポジウム 『子宮頸癌 IGBT』 第1会場 (3F 301)

座長：戸板 孝文 (琉球大学大学院医学研究科 放射線診断治療学講座)

1. 子宮頸癌の Hybrid IGBT における注意点と問題点
大野 達也 (群馬大学 放射線科)
2. 子宮頸癌に対する CT based IGBT の標準化
若月 優 (放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター病院)
3. 子宮頸癌の MRI based IGBT の利点と問題点
伊井 憲子 (三重大学医学部附属病院 放射線治療科)
4. IGBT 時代の組織内照射と腔内照射の適応
吉田 謙 (大阪医科大学附属病院 放射線科)

11:00～11:52 一般演題3『HDR他1』 第2会場(3F 302)

座長：伊丹 純(国立がん研究センター中央病院 放射線治療科)

10. 限局性ハイリスク前立腺癌に対する外照射併用 HDR-BT の長期治療成績

神谷 伸彦(川崎医科大学附属病院 放射線科(治療))

11. 中高リスク前立腺癌に対する IMRT 併用高線量率組織内照射の治療経験

熊野 智康(金沢大学付属病院放射線治療科)

12. 前立腺癌に対してヨウ素 125 密封小線源挿入療法を施行した患者・家族の被ばく線量に関する検討

新谷 幸子(国立病院機構東京医療センター 放射線科)

13. 前立腺癌 I-125 シード治療におけるサンプリング線源強度測定の妥当性評価

小田 倫生(大阪大学大学院 医学系研究科 放射線治療学講座)

12:00～13:00 ランチョンセミナー2 第2会場(3F 302)

座長：熊崎 祐(埼玉医科大学国際医療センター)

画像誘導小線源治療時代における治療計画 QA のパラダイムシフト

演者：黒岡 将彦(神奈川県立がんセンター)

共催：ユーロメディテック株式会社

14:45～16:30 ワークショップ『密封小線源治療診療・物理 QA ガイドライン詳説』

第2会場(3F 302)

座長：鶴岡伊知郎((独)放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター病院 診療放射線室)

1. LDR 物理 QA ガイドラインの紹介

花田 剛士(慶應義塾大学医学部放射線科学教室(治療))

2. 密封小線源治療一診療・物理 QA ガイドライン詳説 HDR 物理 QA ガイドライン

小島 徹(埼玉県立がんセンター 放射線治療科)

6月1日(日)

9:00～9:52 一般演題4『前立腺がん』 第1会場(3F 301)

座長：戸矢 和仁(国際医療福祉大学三田病院)

14. 前立腺癌シード治療後 PSA 再発に対する mapping 生検
萬 篤憲(国立病院機構東京医療センター放射線科)
15. Linked Seed による前立腺癌シード治療の術中術後の誤差 – Loose Seed との比較 –
戸矢 和仁(国際医療福祉大学三田病院 放射線科)
16. ready link を用いた前立腺癌小線源治療の有用性の検討
鶴貝雄一郎(東京警察病院 放射線科)
17. 限局性前立腺癌に対する I-125 密封小線源療法後の PSA 再発予測因子に関する検討
川中 崇(徳島大学 放射線科)

10:00～11:00 特別講演 第1会場(3F 301)

座長：萬 篤憲(東京医療センター 放射線治療科)

小線源治療の今昔と今後の展望

西村 哲夫(静岡県立静岡がんセンター放射線治療科)

11:30～12:30 ランチョンセミナー3 第1会場(3F 301)

座長：吉田 謙(大阪医科大学 放射線医学教室)

CT を用いた子宮頸癌の画像誘導腔内照射

演者：戸板 孝文(琉球大学)

共催：株式会社千代田テクノル

座長：辻野佳世子（兵庫県立がんセンター）

18. 子宮頸癌の腔内照射時における hydroxyzine と diclofenac sodium を併用し fentanyl を用いた鎮痛鎮静法の検討
田口 千藏（四国がんセンター 放射線治療科）
19. 婦人科悪性腫瘍に対する組織内照射を用いた再照射の成績
稲葉 浩二（国立がん研究センター中央病院 放射線治療科）
20. 小線源治療室の作業環境の改善
大西 悠美（京都市立病院 放射線技術科）
21. 小線源治療部会15年の歴史から見た変遷と今後の展望
築山 巖（総合南東北病院 放射線治療科）